



研究部だより



事務職員会 研究部

コロナ禍での令和3年度も、もうすぐ年度末を迎えます。刻一刻と変化する日常に、臨機応変な対応を求められる一年でした。この経験はきっと、私たちの事務職員としてのスキルアップにつながっているはずで、この経験を生かしているいろんなアイデアを提案できる事務職員になれるといいですね。



令和3年度活動の重点「財務マネジメント」

「財務マネジメント」という言葉を聞くと、少し難しいことのように感じている方も多いかと思いますが、よりよい予算運営を目指して、日頃行っている業務に対して、かかわり方を少し工夫することが、財務マネジメントにつながるのではないのでしょうか。

校長の学校経営ビジョンを実現するためには、目標に向かって「教育活動」が円滑に行われる必要があります。また、「職員の資質向上」や、教材・施設などの「条件整備」も重要であり、そのための予算措置は欠かせません。県大会のサブテーマ「どこまで関わるのか？いや、どう関わるかだ！」を意識して、学校を取り巻く様々な情報を収集・管理・編集・提供しながら、課題解決を行っていくことが必要であると考えます。

本日の全体会では、令和4年度より全校実施となる「学校予算総額配裁量制」について、イメージを膨らめることができるよう、研究部より基調提案いたします。今年度2回の全体会を通じて、みなさん一人一人が「子どもの豊かな育ちにつながる財務マネジメント」を実現できることを期待しています！

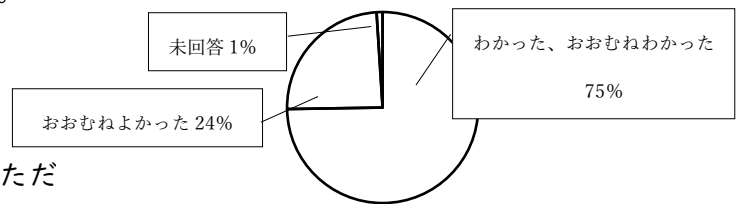


県大会後のアンケートにて、たくさんのご意見・ご感想をいただきました

<アンケート結果より>

- 財務マネジメントを身近な実践とつなげたことで、経験の浅い事務職員にも共感できた。
- 学校事務に「従事する」から「つかさどる」という表現になったことで、どう関わるかを考えることが重要になることがわかりました。普段の業務の中で考えていきたいです。
- どこまで→どのように になることで、事務職員としての在り方・視点に広がりを感じたように感じる。
- 管理職・教員・事務の視点で納得解を求めるために自分の中で仕事の線引きをせず、様々な業務に関わっていきたいです。

Q:取り組みについての発表はわかりやすかったですか？

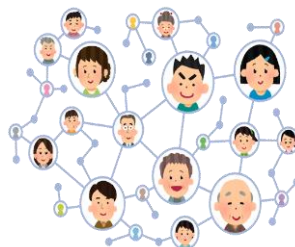


研究部活動に対しても、温かいご意見をたくさんいただき本当にありがとうございました。



静岡県事務職員会グランドデザイン 第2期活動プラン

令和4年度の活動の重点「情報マネジメント」



第2期活動プランも、いよいよ3年目となります。
来年度は「情報マネジメント」です。この言葉に対してみなさんはどのようなイメージを持ちますか？情報機器関係や個人情報などの取り扱い等をイメージするでしょうか。

私たち事務職員は、文書受付や電話・来校者対応など、学校において窓口業務を担っていることから、校内外からの情報を把握しやすい環境にあります。また、共同実施等の学校間の連携などを通して様々な情報を収集することにより、いろいろな視点で学校の変化や課題を察知できる立ち位置にいます。把握した情報を適切に取り扱い、学校の課題解決に結びつけることができる特別な立場にいるという自覚を持つことが、まずは大切な第一歩だといえます。事務職員であるからこそ手に入れることができた情報も、ただ持っているだけでは宝の持ち腐れになってしまいます。その情報を学校運営に活かすことで、情報の価値をより高めていくことにつながるのではないのでしょうか。

大切な情報を学校運営に活かしていくためには、

- コミュニケーション力を高め、アンテナを高くし、情報を主体的に捉えること（収集）
- 収集した情報を事務職員ならではの視点で、適切に分析すること（分析）
- 課題解決に向けて、分析した情報を関係者へ適切につなげること（活用）

など、様々な資質の向上が求められます。

円滑な学校運営のために欠かせない「情報マネジメント」とは一体どんなものなのか、みなさんと一緒に楽しみながら考えていきたいと思えます。
よろしくお願いいたします。



お知らせ

学校事務実践レポート

全事研が募集している「学校事務実践」へ以下のレポートを提出しました。内容は、県大会の提案内容にもつながるとても良い実践です。ご応募ありがとうございました。

久能小学校 山本純令さん 「効果的な備品整理に向けて」

第53回全国公立小中学校事務研究大会(埼玉大会)

大会テーマ：子どもの未来を創造する地域協働

日程：令和4年1月11日～2月18日 Web開催

研究協議ライブ配信：令和4年1月27日・28日 10時30分～16時30分 録画動画掲載されます

